

「弱さと共に生きるということ」

最終講義

西口守
教授

現代生活学部
生活デザイン学科

講義概要

社会福祉の実践は、時代状況の変化と共にその対象者や方法が変遷しました。いわば、ケースワークからソーシャルワークへの転換と言えるかもしれません。

介護が一般化される中で、しかしながら一方では、この一般化や普遍化では対応出来ないニーズを持つ人への独自の視点が求められてもいます。この独自の視点（ニーズ）を持つ人々をマイノリティと呼ぶのかもしれませんが。私たちは今、このマイノリティの声に耳を傾け、“共にそして友として”生きていこうとする姿勢が問われています。

マルティンルーサーキングJrは、「差し迫った破壊から私たちを救うのは、多数派の自己満足的な調整ではなく、少数者の創造的な不適應だ」といいます。弱さと共に生きることや弱さから学ぶことについて皆さんと考えたいと思います。

会場

東京家政学院大学 町田キャンパス3301教室
※事前申し込み不要

または

オンライン配信 (Teams)

下記の申込フォームURL、QRコード→

または、問い合わせ先へメールで
2/2(金) までにお申込ください。

申込フォームURL

<https://forms.gle/W5s5qcsMDhmhQzPT6>



日時

2024年 **2月3日 (土)**

15:30~16:30 | 開場15:20

主催：東京家政学院大学 現代生活学部 生活デザイン学科

問い合わせ先:chiba★kasei-gakuin.ac.jp (千葉)

ishizuna★kasei-gakuin.ac.jp (石網)

お問い合わせの際は★を@に変更してください

